



新しい年度が始まりました。暖かい陽ざしに心弾む一方で、環境や生活サイクルも大きく変わることの多い季節です。

子どもだけでなく、親御さん、とくにお母さんにとっても戸惑うことも多い時期ではないでしょうか。そんなときはちょっと意識

して深呼吸してみましょう。新しい空気が緊張を和らげてくれるでしょう。



※3つの「きく」

入園、入学などで新しい環境になった我が子がそこでどんなふうにごろしているのか気になって、いろいろ知りたくなるのは自然なことです。

こちらから、きかなくてもたくさんおしゃべりをしてくれる子もいれば、きいてもあまり話さない子もいます。新しい世界で子どもなりに緊張し、家に帰ってきてほっとしているのかもしれませんが。少し見守ってあげましょう。

「きく」には「聞く」「聴く」「訊く」の三種類があります。

「聞く」は音が耳に入ってくる、聞こえるという意味です。

「聴く」は相手の感じていること、伝えたいことを理解しようと耳を傾けること。

「訊く」は自分の知りたいこと、質問したいことを尋ねること。

「聞く」は受動的（受身的）で「聴く」は能動的（積極的）ですが、「訊く」は自分がききたいことを「訊く」ので相手が言いたいことを「聴く」とは方向が違います。「訊く」ことで相手が話したくても言い出せなかったことが出てくることもあります。自分の関心だけできいていると「聴く」がなくなり、追求になります。どのきき方がよくて、どれが悪いというのではなく、「聞く」「聴く」「訊く」—その場に応じた「きき方」をしましょう。親の気持ちを優先せず、子どもの気持ちに寄り添うことを心掛けていきたいものです。